

10年後も魅力あふれる 札幌であるために ～まちづくり戦略ビジョンが完成しました

札幌のまちが、将来も魅力的なまちであり続けるために
何に取り組む必要があるのか、その指針となる計画を策定しました。
このページでは、策定の理由と計画のポイントを紹介します。

このページに関するお問い合わせは 政策企画部企画課 ☎211-2192

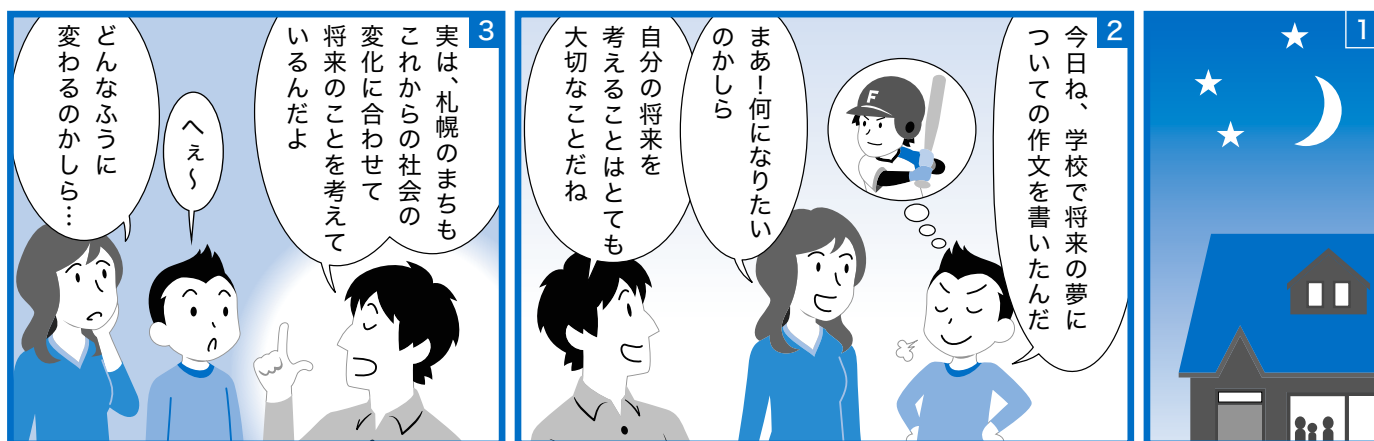
まちづくり戦略ビジョンとは？

札幌の今後10年間のまちづくりの指針となる計画です。目指すべき都市像などを示す「ビジョン編」と、市が優先・集中して行う内容を示す「戦略編」の2部で構成しています。



市民会議などを重ね、市民の皆さんと一緒に作り上げました

まちづくり戦略ビジョンを作った理由 変わっていく札幌のまち



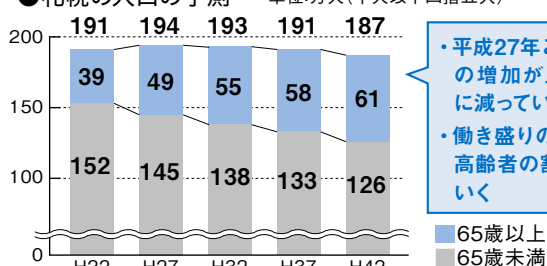
【人口がどんどん減っていく!?】

札幌の人口は、平成27年ごろをピークに減り始めると予想しています。

まちの変化

特に働き盛りの世代(15歳～64歳)が減り、まちの経済が弱まるのが懸念されます。

●札幌の人口の予測 単位:万人(千人以下四捨五入)



- ・平成27年ごろには人口の増加が止まり、徐々に減っていく
- ・働き盛りの世代が減り、高齢者の割合が増えていく

【一人暮らしの高齢者が増える!?】

平成37年には、8世帯に1世帯※が65歳以上の単身世帯になる見込みです。

※平成17年は13世帯に1世帯

まちの変化

支援や見守りが必要な人が増加する見込みです。

【エネルギー政策が変わる!?】

原発に依存しない社会の実現や二酸化炭素の排出量を抑えた暮らしが望まれています。

暮らしの変化

太陽光などの再生可能エネルギーの活用や、省エネを意識した生活が求められます。

こうした変化に対応するには、成長を続けてきたこれまでの時代における考え方や価値観を大きく転換していく必要があります。そうした中、まちの魅力を高め、それを未来に引き継いでいくために、今後10年間の新たなまちづくりの指針「まちづくり戦略ビジョン」を作りました。